

英語科学習指導案

日 時 平成24年10月4日(木) 5校時
学 級 2年A組 ①(男子10名 女子7名 計17名)
②(男子10名 女子9名 計19名)
場 所 ①2年A組教室 ②2学年ルーム
指導者 ①秋山 貴美子 ②伊藤 智江

1 単元名 Unit 5 A New Language Service (NEW HORIZON English Course 2)

2 単元について

この単元では、言語材料として接続詞 (if, that, when, because) を扱う。接続詞を含む文が、それぞれの場面をとおして無理なく組み込まれている。これらの接続詞を学ぶことにより、生徒が表現の幅を広げ、自分の考えを話したり書いたりすることができる単元である。

取り上げられているトピックは、緑市にはボランティアによる外国語の通訳支援が必要であるという話題である。Starting Out では市が外国語ボランティアを探しているという広報誌の記事、Dialog では一郎の母が外国語ボランティアに応募し、通訳として働くことになったという内容の対話、Reading for Communication では外国人住民のために市が計画している新しい言語サービスを紹介している新聞記事と、それに対する投書欄で一郎の母が「やさしい日本語」を提案する場面になっている。観光客としてではなく住民として日本に暮らす外国の人たちが直面する様々な問題を中学生なりに考え、自分の意見を表現するのに適した題材である。

3 生徒について

今年度のNRT結果を大領域別で見ると、本校の2学年は聞くことが全国比96、話すことが93、読むことが94、書くことが86であった。特に書くことに対する苦手意識が強く、基本的な単語を書くことができない生徒が多いのが現状である。本単元は話すことが主な活動になるが、話すことをとおして、他の3技能、特に書くことと関連付けながら授業の中で指導していくことが必要である。本単元の学習事項は、自分の考えを表現する際に役立つものであるので、間違いを恐れずに生徒に表現させ、試行錯誤させながら学習事項を定着させたいと考える。

本校の2学年では年間をとおして、英語の少人数指導を行っている。クラス分けについては、1つのクラスを機械的に2つのグループに分けている。生徒の実態は、おおむね落ち着いており、学習態度も良好である。しかし、全体の前で発表することを苦手とし、改まった場になるとなかなか自分を表現できない生徒が多い。また、学力不振、特別な支援を要する生徒もいる。

4 単元の目標

- (1) 言語活動において、間違うことを恐れず話す。
- (2) 接続詞 (if, that, when, because) を用いた文を使い、自分の意見を伝える。
- (3) 新聞記事を読んで概要を理解する。
- (4) 接続詞 (if, that, when, because) を用いた文の構造を理解する。

5 単元の指導計画

| 時間 | 学習内容 | 評価規準 | | | |
|---------|---|---------------------------|-------------------------------------|---------------------|-------------------------------|
| | | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
| 1 | ○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ○条件を表わす接続詞 if を用いた文の構造を理解する。 | | | | ・接続詞 if を用いた文の構造を理解している。 |
| 2 | ○I think that (接続詞) を用いた文の構造を理解する。 | | | | ・接続詞 that を用いた文の構造を理解している。 |
| 3 本時 | ○I think that を用いて自分の考えを述べる。 | | ・I think that を用いた文を使い、自分の意見を伝えている。 | | |
| 4 | ○時を表わす接続詞 when を用いた文の構造を理解する。 | | | | ・接続詞 when を用いた文の構造を理解している。 |
| 5 | ○理由を表わす接続詞 because を用いた文の構造を理解する。 | | | | ・接続詞 because を用いた文の構造を理解している。 |
| 6 | ○新聞記事を読み、自分の意見を述べる練習をする。 | ・言語活動において、間違ふことを恐れず話している。 | | ・新聞記事を読んで概要を理解している。 | |
| 7 | ○接続詞を用いて、自分の意見を述べる。 | | ・接続詞を用いた文を使い、自分の意見を伝えている。 | | |

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・I think that を用いた文を使い、自分の意見を伝える。

(2) 本時の授業構想

- ①【教師の説明】…that が導く名詞節にはいろいろな働きがあるが、ここでは動詞の目的語となる場合のみを取り上げる。なお、相手の意見に賛成・反対する時の言い方も確認をする。
- ②【理解確認】…ペアでの対話をとおしてその理解状況をモニタリングする。that 節の中に主語がない、動詞がないなどのミスがあることが予想される。関わり合いの中で不十分の理解を表出させ、修正を図りたい。
- ③【理解深化】…自分の意見、考えを相手に伝える力を身につけさせるために、「被災地のために自分ができることを考えて発表しよう」という理解深化課題に取り組みさせる。
- ④【自己評価】…分かったこと、学んだことなどを記入させ、自分の意見を述べるときに使える表現を確認する。

(3) 評価の観点と評価規準

| | A 十分満足できる | B おおむね満足できる | C 努力を要する生徒への手立て |
|---|--|-------------------------------------|---------------------------|
| ・I think that を用いた文を使い、自分の意見を伝えることができる。 【外国語表現の能力】 | ・I think that を用いた文を使い、その考えを補足する短文も加えながら自分の意見を伝えている。 | ・I think that を用いた文を使い、自分の意見を伝えている。 | ・教師のモデルや教科書で使えそうな箇所を確認する。 |

(4) 本時の展開

| | 学習活動と留意点 | 評価及び教材教具等 |
|----------------------------------|--|---|
| 教 え る 10 分 | ① 前時の復習をする。 ・教科書を音読させ、前時の学習内容を思い出させる。 ② ある人物についての教師の意見を聞く。 ・教師対全体との interaction で、自分の意見の述べ方、相手の意見に賛成・反対する時の言い方を確認させる。 ③ 学習課題を確認する。 被災地のために、自分ができることを考えて発表しよう。 | ・PC |
| 理 解 確 認 10 分 | ④ 被災地の情報を知る。 ・画像（写真）で情報をつかませる。 ⑤ モデル対話を音読練習する。 ・ペアで練習させる。 ⑥ 自分ができることについて意見を述べる。 ・モデル対話を参考にして、自分の意見を述べることができるか、ペアでチェックし合い、説明させる。 ・理解度をモニタリングする。 | ・PC/TV ・ワークシート |
| 考 え さ せ る 27 分 | ⑦ 与えられた情報から、自分ができることを考え意見を述べるためのメモを作る。 ・分からない語句は辞書で調べさせる。 ・アイデアが浮かばない生徒、語句が調べられない生徒には教師が支援する。 ⑧ ペアで意見を交流する。 ・間違いを恐れずに発表させる。 ⑨ それぞれの意見に付け加える文を1文以上ペアで考える。 ・付け加える文の内容をメモさせる。 ⑩ グループで意見を交流する。 ・メモをとらせる。 ・付け加えた文も発表させる。 ⑪ 全体で意見を交流する。 ・聞き手にはメモをとりながら聞かせる。 ⑫ 意見交流後、自分の意見を英文で書く。 | ・ワークシート 【外国語表現の能力】 I think that を用いた文を使い、自分の意見を伝えることができる。 〈活動の観察〉 A: I think that を用いた文を使い、その意見を補足する短文も加えながら自分の言いたいことを伝えている。 C: 教師のモデルや教科書で使えそうな箇所を確認する。 |
| 自 己 評 価 3 分 | ⑬ 自己評価する。 ・分かったこと、学んだことなどを記述させる。 ⑭ 次時の学習内容を確認する。 | ・ワークシート |